

決算認定はじめ16議案を議決

災害復旧事業費など補正 補正額 1億1407万4千円
(一般会計) 累 計36億7125万1千円

十二月定例議会

十二月二十三日、瀬戸町議会第二百三回定例会が開催され、昭和六十二年度決算認定および条例改正案ならびに昭和六十三年度補正予算案など上程十六議案が審議され、原案どおり可決されました。

▼第四十七、五十四号議案
昭和六十二年度における各会計の決算認定について(概要は次ページ)

▼第五十五号議案
瀬戸町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について

▼第五十六号議案
議会の議員の報酬及び期末手当並びに費用弁償支給条例の一部を改正する条例について

▼第五十八号議案
議長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部を改正する条例について

二十万八千円に、副議長が七千円アップの十六万八千円に、議員が六千円アップの十五万四千円にそれぞれ報酬が改定されました。

▼第五十七号議案
特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について

町長が二万三千元アップの六十万円に、助役が一万八千円アップの四十八万円に、収入役が一万八千円アップの四十五万円にそれぞれ給与が改定されました。

▼第五十八号議案
教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部を改正する条例について

間等に関する条例の一部を改正する条例について

教育長の給与が、一万八千円アップの四十四万円に改定されました。

▼第五十九号議案
昭和六十三年度瀬戸町一般会計補正予算について

○補正額
一億一千四百七十七万四千円の増額

○累計
三十六億七千二百二十五万一千円

▼第六十号議案
昭和六十三年度瀬戸町国民健康保険事業特別会計補正予算について

○補正額
六十一万円の増額

○累計
三億二千八百三十六万五千円

○補正額
七十七万七千二百円の増額

○累計
一億四千二百七十七万七千七百円

▼第六十一号議案

昭和六十三年度瀬戸町住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算について

○補正額
百三十九千円の増額

○累計
六百十七万三千円

○補正額
三千九百四十八万四千円の増額

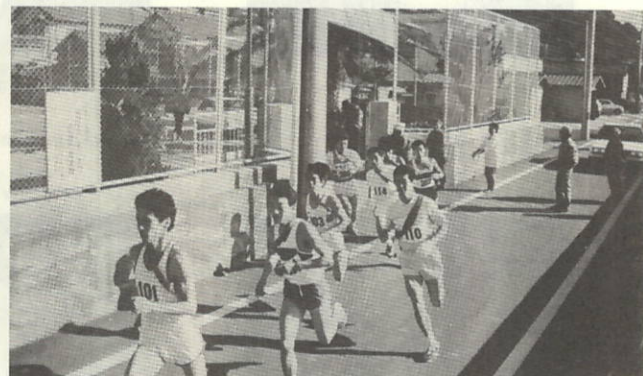
○累計
三億二千七百三十三万三千円

○補正額
三億二千七百三十三万三千円

○累計
三億二千七百三十三万三千円

○補正額
三億二千七百三十三万三千円

○累計
三億二千七百三十三万三千円

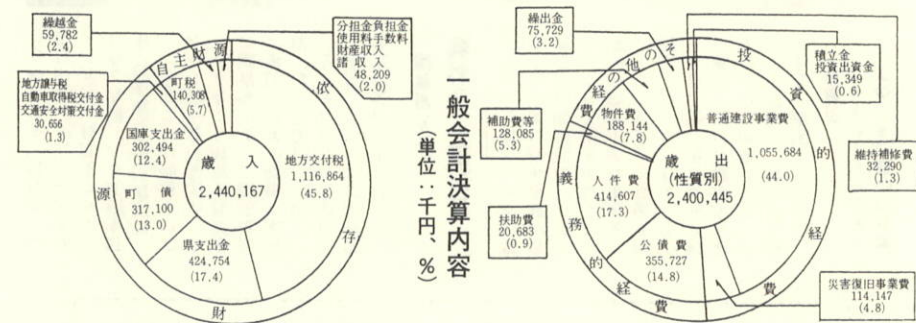


1月15日 第22回瀬戸町駅伝大会

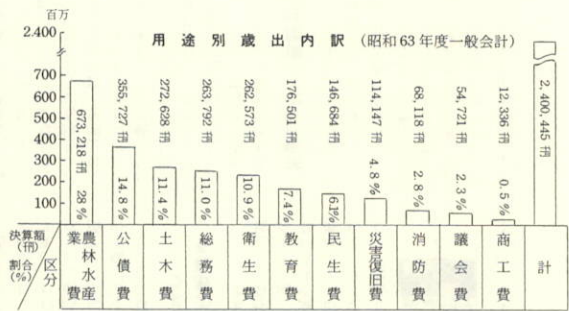
(関連記事 公民館だより)

24億円が町づくりに ～和62年度一般会計決算状況～

歳入決算額 24億4016万7524円 差引決算額
 歳出決算額 24億 44万4860円 3972万2664円



一般会計決算内容 (単位：千円、%)



昭和62年度 会計別決算状況

会計名	歳入決算額	歳出決算額	差引額
一般会計	2,440,167,524	2,400,444,860	39,722,664
国民健康保険特別会計(事業勘定)	317,358,999	283,985,864	33,373,135
〃(直診勘定)	21,805,786	103,915,683	▲82,109,897
簡易水道特別会計	256,012,514	256,012,514	—
港湾整備事業特別会計	6,991,831	6,991,831	—
土地取得特別会計	26,312,603	26,312,603	—
住宅新築資金等貸付事業特別会計	6,144,787	5,669,003	475,784
学校給食特別会計	14,967,920	14,961,154	6,766
老人保健特別会計	242,962,472	244,301,796	▲1,339,324

瀬戸町のリゾート 開発計画

リゾート開発による地元への波及効果として、次の四つがその主なものです。
 一、施設の建設段階での雇用効果
 二、雇用機会の創出
 三、地場産品の消費拡大
 四、税収の増

これらの効果以外にも、訪れる観光客を対象にした新規産業も生まれ、例えば、土産物店、飲食店、観光農園等を経営することにより、収入を得ることも可能です。今、日本全国には、数えきれない程のリゾート開発計画があり、過疎地に残っている不動産を活用し、収益資産に変え、地域の活性化を図ろうとしています。

しかし、北は北海道から南は沖縄まで、数多くのリゾート地が形成された場合競合は避けられません。その中から、特定のリゾート地へ、人を向かわせるには、そこへ足を運ぶ、必然性が、また、魅力がなければなりません。

二十一世紀に向けて 地域活性化とリゾート

この「必然性」を「魅力」を、どうやって造るかが最大のポイントであります。ではその「必然性」「魅力」とは何でしょうか。(人に来てもらえる環境)
 ○清潔性が高い
 ○安全性が高い
 ○居心地が良い
 ○時間が有効に使える(人が集まる要因)
 ○食事がおいしい
 ○健康を増進する環境、施設がある
 ○健康的なセックスアピールがある
 ○仲間意識、コミュニケーショニングが高い
 ○日常性からの開放
 ○心と感性を豊かにする
 ○情報発信源となる

リゾート地を訪れる人々は、巨大な宿泊施設の建設費の一部を負担しようとして料金を支払うのではありません。たとえ小さなペンション

であっても、そのオーナーとの心暖まる対話、手作りの料理のおいしさ、アメリカやヨーロッパの家のようなシャレたデザインと言った雰囲気の中の参加できて、その演出家に対してお礼を支払う訳です。このドラマの脚本づくりをしつかり作る事が瀬戸町のリゾート地としての成功の秘訣でありましょう。瀬戸町のキーワード

- ①人工的に大規模施設を多数建築するのではなく、本町の特性を最大限に生かしたドラマを演出するための効果的な施設を配するリゾート地とする。
- ②商圏としては、松山を中心とする県内及び四国四県を対象とする。将来的には九州及び中国地方も対象に考えられる。
- ③青い海(ブルー)、空(スカイ)、高原(グリーン)、サンサンと輝く太陽、これらを総合すると瀬戸町のリゾートは、清潔的で明るく健康的でしかもハイセンスなイメージで売り出すべきである。
- ④それぞれの開発ゾーンの広がりや施設規模はたどえ小さくても、一つひとつがシャレた感覚デザインで全てを統一したグリーンの高さを誇るリゾート地とする。
- ⑤トータルイメージを高めるため、佐田岬地域の各市町と連絡調整し、それぞれの特長を生かした計画づくりを進める。

保険料は所得から 控除されます

税金の確定申告の時期となりました。国民年金の保険料は「社会保険料控除」の対象となり、所得から控除されます。今回は、昭和六十三年一月から十二月までに、あなたやあなたが納めたご家族の分の国民年金保険料が、総所得から控除されます。保険料を前納した場合や納め忘れられた過去の保険料をこの期間中に納めた場合も同じです。

所得を申告する場合には忘れずに控除の手続きをしましょう。

六十三年一月から十二月までの国民年金保険料

納付月	月額	保険料額
1月～3月	7,400円	22,200円
4月～12月	7,700円	69,300円
合計		91,500円

※付加保険料がある場合は、1ヵ月あたり400円を加算してください。12ヵ月分で4,800円です。

わが家のアイドル

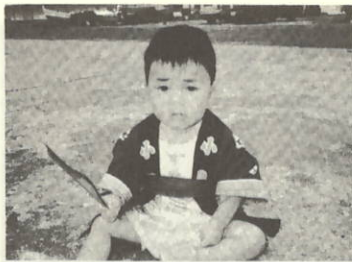
河内 公幸 平子さんの三女



ともみ ちゃん(三机)
友美 (昭和62年7月10日生まれ)

体重8kg。小さな体でよく食べ、元気いっぱいです。毎日、お姉ちゃん達にもまねながら負けずには遊んでいます。外にでて歩くのが大好きなので早く暖かくなれないかなあ〜

阿部 勇教 二子さんの長男



あべ 馬くん(神崎)
和 (昭和62年7月27日生まれ)

みかんと太鼓とお外が大好きな和馬です。最近では1人で外へ出て行ってしまおうのでお母さんは大あおです。なかなかのひょうきん者でとりかえるならインパーターの歌をうたうと踊ります。和やかでたくましい男になってほしいと願っています。

瀬戸の花嫁便コーナー

一 発送間近 三月便
春の味覚をお届けする、「瀬戸の花嫁便」の三月発送が迫ってまいりました。

今回は、次の産品をパツクとして、三月十日の発送を予定しております。

- 伊予柑
- 瀬戸わかめ
- 瀬戸ひじき
- ちりめん
- タルト 等

会員の皆様、お楽しみに！三月便のあとは、六月便となります。

瀬戸の花嫁便協議会では瀬戸町ふるさとネットワーキング「瀬戸の花嫁便」の会員を募集しております。

お世話になったあの方やなつ特産品をお友達等に瀬戸町特産品をプレゼントしてみたいかがですか……産地から素顔のまんま嫁ぎます

※お問い合わせ・お申し込みは愛媛県西宇和郡瀬戸町瀬戸町役場企画課内瀬戸の花嫁便協議会事務局
TEL 〇八九四(五)二〇一一一
内線五二

おたよりコーナー

水野 親様(高槻市芝生町) いつも広報を送っていただきありがとうございます。毎月楽しみにしております。田舎へは時々帰りますが、送っていただく広報は、細かく、明確にわかり、とつてもなつかしく拝見しております。

是澤孝行様(三木市志染町) 瀬戸の花嫁便は、いつもふるさとの香りがあり、毎回楽しみに致しております。

北島博様(東京都江東区) 故郷を離れて四〇数年たちますが、瀬戸の花嫁便の会員になり、いろいろな特産品を送っていただき、その度になつかしく思い出します。これからも続く限り瀬戸の花嫁便を愛していきたいと思っております。よろしくお願いいたします。(旧姓須藤)

細川丑郎様(大府市吉田町) 瀬戸の花嫁便会員となつて、早くも二年が過ぎました。その間色々なふるさと産品を送っていただき、又、毎月の広報せとをなつかしく拝見しながら、瀬戸町の様子がくわしく掲載されておられ、大変勉強になります。今後ともふる里の発展を願っております。

新城ヒデ子様(大阪市大正区) 毎回箱をあけるたびに、心あたまる品物でなつかしい特産品ばかりで、協議会の心使いとても感謝しております。一年中なんでもある今日この頃ですが、瀬戸の花嫁便が届くようになってからは、四季がわかるようになりました。

岩宮鹿雄様(神奈川県座間市) 瀬戸の花嫁便の発送回数が増える毎に、協議会の皆様方の苦心と心使いが忍ばれ、嬉しく、懐しく感ずる事ができ、ほんとうにありがとうございます。がんばって下さい。

大村静代様(伊丹市東有岡) ふるさと広報が届くようになって、田舎の事が色々わかり楽しんでおります。花嫁便届く度にいつも心がこもっているのがわかります。

武智恩様(八王子市片倉町) 金さえ出せば思うがままに、欲望を満たしてくれませう。しかし、東京では心の隙間風が吹くように、満たされない物があります。それを満たしてくれるのが故郷便(瀬戸の花嫁便)の味と香り。本年も色々心のこもつた特産品楽しみにしています。

長岡新三郎様(北九州市門司区) 明けましておめでとうございませう。この度は、色々とお品を揃え花嫁美人を沢山送っていただきありがとうございます。ふる里の味がたつぷりであり、幼ない頃の思い出が今一度返りさき、懐をうるわしてくれものがあります。最近、特にふるさとが

天皇崩御に哀悼の意を表し

厳肅に消防出初式

一月七日(出)、三机小・中学校グラウンドにおいて、瀬戸町消防出初式が開催されました。

当日は、昭和天皇崩御と重なりましたが、団員は早朝から行動を開始しており、町内外の来賓の方々も出席されていたことから、天皇崩御の報に心から哀悼の意を表しながら、昭和最後の出初式として厳肅に実施されたものです。

開会に先だち一分間の黙禱をささげ、人員報告に続いて町長訓辞のみで閉会し、



- 〇無火災分団表彰
第九分団(昭和57年2月8日から7年間無火災)
第10分団(昭和58年8月10日から5年6ヶ月の間無火災)
- 〇瀬戸町長表彰
精勤章
吉川 栄作
- 〇愛媛県消防協会長感謝状
30年以上勤続消防団員家族内助の功
足成 日野 愛子
小松ユキ子
- 〇八西消防団連合会長感謝状
20年以上勤続消防団員家族内助の功
川之浜 福島 敬美
人命救助
瀬戸町長感謝状
大久 松井 計安
- 〇日本消防協会会長表彰(伝達)
勤続章
日野富士一
山本 辰茂
- 〇退職報償銀杯(伝達)
一号銀杯
阿部 一正
三好 一弘
二号銀杯
阿部 道雄
結城 道雄
村上 勇治
島津 政良
- 〇愛媛県消防協会長表彰
功績章
河野 文吉
本田 光男
- 〇勤続章(15年以上)
山口 好博
中里 政明
吉見 武雄
村上 博康
近世 凡夫
久田 三郎
- 〇八西消防団連合会長表彰
規律章
佐々木雅志
阿部 忠
松本 明周
井上 若春
大森 政利
藤川 三好
水野勢都夫
河内 公平
大塚 伸弥
阿部 照雄
- 〇愛媛県知事表彰
功労章
白石 義保
中川 佐吉
- 〇愛媛県消防協会長表彰
功績章
中野 文吉
河野 光男
- 〇勤続章(10年以上)
中田 俊次
吉見 武雄
村上 博康
近世 凡夫
久田 三郎
- 〇八西消防団連合会長表彰
規律章
佐々木雅志
阿部 忠
松本 明周
井上 若春
大森 政利
藤川 三好
水野勢都夫
河内 公平
大塚 伸弥
阿部 照雄



恋しくて、年に一度帰るのを楽しみにしております。ふるさとへ帰る度に、新しい道ができて、昔の面影は遠くへ去って情景です。それに、頂上線には立派な国道ができ、時代の移りが感じられ、美しい町になったのも在郷皆様の努力の賜と感謝でたえませぬ。又、瀬戸の花嫁便のおたよりコーナーの欄などを設けています。つしやる等感心していらつと、亡き方々の年令が私と同年代の方ばかりで、戦時中、食料不足で子育てに苦労された方々と想いが寄せられ、亡き方々のご冥福をお祈りいたします。ふる里は見るもの、聞かせるもの、かえるもの

人々のうごき

(1月末日現在)

世帯数	1,292戸
人口	3,456人
男	1,595人
女	1,861人
世帯数	4,381戸
世帯人口	14,611人

昭和63年12月分



末長く
お幸せに



おくやみ



お誕生
おめでどう



種類も近年ますます盛ん
のよう、特に学期にゆかり

「団地では、この季節になると、毎晩きまつて遅くまで電気がついている窓がいくつもあります。受験生の家なんです。そして受験生は、互いに同級生の窓の灯を気にしながら頭落つていますね」とはある団地の人の話。中学、高校、大学ばかりでなく、小学校、幼稚園の受験生も真剣です。受験生のいる家庭では、「落ちる」「滑る」という言葉を禁句にするなど、たいへんな緊張ぶりです。

受験シーズ

月間です。

「エネルギー 上手に使ってほのぼののウインター」の標語のもとに、省エネルギー運動が展開されています。適正な温度で暖房を利用するなど工夫をしましょう。エネルギーの使い過ぎは、無駄なばかりでなく、大気汚染にもつながります。

二月は省エネルギー



のある天満宮などは、この季節には梅の花見をかねた参拝者でにぎわいます。

「受験生本人はそれどころではないでしょう。ほとんどが代参ですとは、ある神主さんの話。それも、孫のためにといいおじいちゃん、おばあちゃんが多いといいます。合格祈願の商品も花盛り。

「必勝」の鉢巻、合格の文字入りパンツ、合格にちなんだ五角形の鉛筆などさまざまです。それにしても、受験生の家族の最大心配は風邪でしょう。むやみに暖房を強め、かえってのどを痛めること

もあります。